

# 手軽にアレンジできる —それが“アクチュアル”の魅力

## 品川エトワール女子高等学校

2023年11月25日、大修館書店は、「教材とICTを上手に活用して、探究学習をアップデート！～探究教材“アクチュアル”活用事例のご紹介～」と題したオンラインセミナーを開催しました。品川エトワール女子高等学校で教務部部長をお務めの曾原健一郎教諭をお招きし、同校での探究活動と“アクチュアル”の活用についてお話しいただいた当日の様をお届けします。



## 品川エトワール女子高等学校について

品川エトワール女子高等学校は、東京都の品川区にある私立の女子校。中学校を併設していない高校のみの学校で、約650名の生徒が在籍している。国際キャリア、マルチメディア表現、保育、ネイチャースタディ、キャリアデザインという5つのコースに分かれており、各コースで学校設定科目を中心に専門科目を設定し、3年間を通じてコース独自の特徴ある授業を展開している。



〈曾原健一郎教諭〉

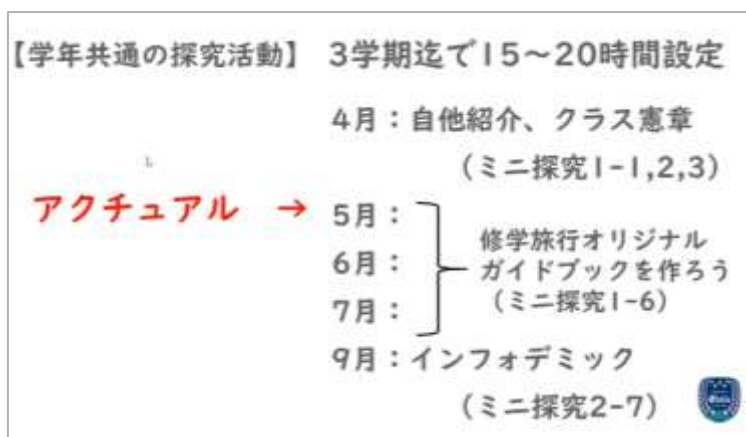
## コース制ゆえに…

各コースではコース長のもと独自の探究活動を進めてきたが、学年を取りまとめる学年主任が各コースの学習内容を把握しきれない、また、それぞれのコースで他コースの様子を把握しづらいといったところに、課題を感じていたという。さらに、各コースでシラバスを作成し、授業・評価に取り組むといった中で、探究活動をより充実させていくとなると、担当者の負担が増えてしまう点にも課題感があった。

## “アクチュアル”の導入

こうした課題を学年内での横のつながりであったり、学年主任や教務部によるサポートなどで解決できないかと考えていた際に出合ったのが、“アクチュアル”だった。

“アクチュアル”を導入後、同校では1・2年生で学年共通の探究活動を取り入れた。今年度は総合的な探究の時間のうち、15～20時間は“アクチュアル”による探究活動に、それ以外はコースごとの探究活動に取り組んでいる。これによって、急に時間ができた際にも、「“アクチュアル”のこの教材を使ってみたらどうですか？ このタイミングなら他コースとも一緒にできますよ」と教務部から提案して授業を進めていくことができるようになったという。また、コースごとに学力が異なることもあり、授業時数1～2時間で設定されている“アクチュアル”ミニ探究の教材も、教務部でアレンジして、1.5倍程度時間をかけて取り組んでいるそうだ。



〈2年生での“アクチュアル”利用状況（2学期まで）〉

## “アクチュアル”の利点

曽原教諭は、“アクチュアル”の利点を3つ挙げた。

### ◎資料が豊富で、すべてダウンロードが可能

サービスのプラットフォーム上でしか使えない、PDFしか用意されていない、といった探究の教材・サービスが多い中、“アクチュアル”は豊富な資料をダウンロードして、すべて校内のサーバやドライブへ持ってくるので、非常に助かっていると曽原教諭は語る。実際、同校では全校的に展開しているGoogleドライブへ資料を保管し、その資料をアレンジして活用しているという。“アクチュアル”自体にも資料や成果物を管理する機能があるにもかかわらず、保管場所に関して柔軟に対応している点を曽原教諭は高く評価している。

## ◎時数に合わせて課題を選択できる

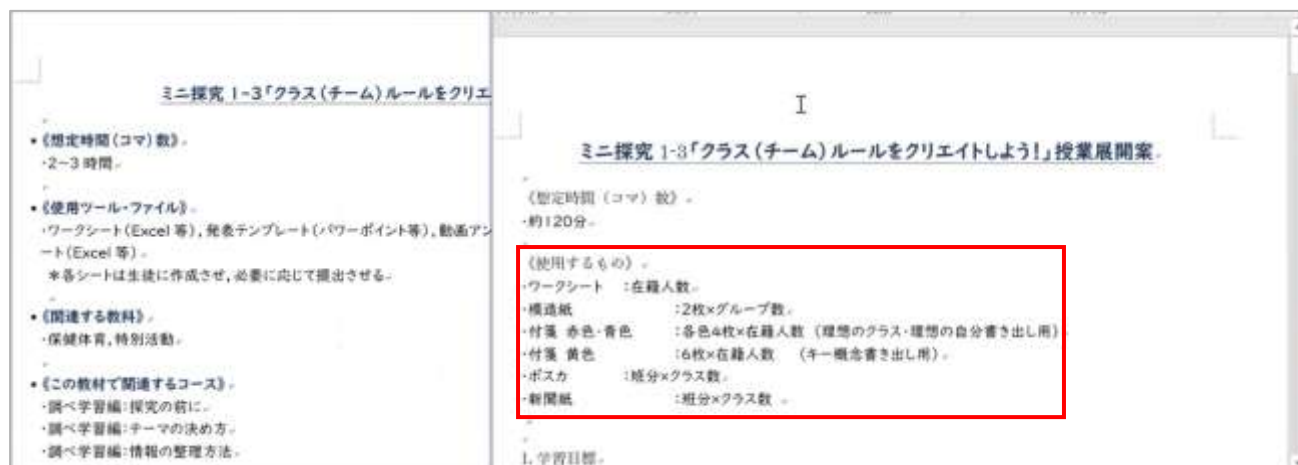
Google ドライブに置いた“アクチュアル”の資料は、これも全校へ展開している Google Classroom を使って、生徒への告知や課題提出を行っているとのこと。こうした校内導入済みのサービスへ適用できる上に、収録されている教材が 10 時間ほどかかるものから 1 時間で終わるものまでバラエティーに富んでおり、選び甲斐がある、と曾原教諭。

## ◎ファイル形式は WORD, EXCEL, PDF

そして資料は馴染みのあるファイル形式で用意されており、アレンジしやすい上にベテランから新任まで先生方へ共有しやすく、使い勝手がいいと好印象だ。続けて曾原教諭は、“アクチュアル”ミニ探究 1-3「クラス（チーム）ルールをクリエイトしよう！」を例に、実際のアレンジについて説明した。

## 授業展開案（指導案）のアレンジ

ミニ探究 1-3 を同校では、生徒たち同士でコミュニケーションさせるため、オリエンテーション合宿時に活用。“アクチュアル”ミニ探究の授業展開案には、想定授業時数や学習目標、ルーブリック、授業展開例などが記載されているが、情報量が多いと扱い切れない教員も出てくるということで、シンプルなものにアレンジし直した。アレンジに当たり、一番重視したのは、当日使用するものを詳細に記述した点だという。



〈アレンジ例①：「使用するもの」（左が元々の授業展開案、右が曾原教諭によるアレンジ）〉

学習目標や指導観などはそのまま使ったが、評価は別途校内で用意してあるため“アクチュアル”のルーブリックは授業展開案から削除。そして、授業展開例に入る前に、オリエンテーション合宿において必要となる事前活動について記述を追加し、その上で授業展開例を示すようにしたという。

主体性・協働性	①	他者との協力を重んじながら、他者と協力して合意可能なルールを設定できる。	他者と協力してルールを設定することができない。	協力してルールを設定できている。
<p>【事前活動】合宿1日目 夜間活動</p> <p>・グループ分け(4~6人一組)までできれば、付箋に「理想とするクラスの姿」と「理想とする自分の姿」を書き出す(20分)</p> <p>【1期】8:30-9:10 (5分)</p>				

〈アレンジ例②：事前活動（左が元々の授業展開案、右が曾原教諭によるアレンジ）〉

授業展開例もどんどん手を入れていき、オリエンテーション合宿時には生徒がまだ端末（iPad）を持っていない状況を考慮して、発表資料作成については、動画制作となっているところを付箋と模造紙を用いた活動に改めた、と曾原教諭。このように中身を確認しながら実際の取組みに合わせて自由に手を入れられる、“アクチュアル”の自由度の高さを曾原教諭は高く評価している。

5分	生徒の学習活動	指導内容	使用するもの・留意点
導入 5分	グループになって座る。(4人一組)・本時の学習活動を把握する。	4~6人になるよう促す。	
展開Ⅰ 20分	<グループ活動>・ワークシートに自分の理想とするクラス、理想とする自身の姿を書き出す。・グループのメンバー全員のワークシートをまとめる。	・一人ずつ、自分が付箋に書いた情報を口頭で伝達し、集約用の模造紙に付箋を貼っていく。	▶模造紙(1枚)・一人一人きりと口頭で自分の考えを伝えながら共有。
展開Ⅱ 20分	<グループ活動>・発表動画を作成する。・撮影者・発着者・タイムキーパー等の役割分担を行う。	・グループ内で理想とするクラスの姿と構成員の姿をまとめる。	▶ボイス・下にしく新聞紙・デザインにはこだわらない。
まとめ 5分	<全体活動>・次時の説明を聞く。・家庭での課題を確認する。	・次時の説明を聞き、発表動画の作成や役割分担等が終わっていない場合は、進度調整を促す。・動画はクラス内で共有し、次時までに視聴。動画アンケートシートを用いて、以下の作業を終えておくよう指示する。1.自チーム以外の動画について、アンケートに改善ポイントを書く。	

〈アレンジ例③：発表資料作成方法（左が元々の授業展開案、右が曾原教諭によるアレンジ）〉

## 教材研究を助ける参考情報

また、ミニ探究の授業展開案には各所に参考になるリンクが貼られていて、ミニ探究1-3であればKJ法について紹介したウェブサイトへアクセスできるようになっていたり、時事問題を扱う教材には関連する記事や動画のリンクが貼られていたり、先生が事前に勉強しやすい作りになっている点が助かると曾原教諭。グループワークがあまり得意でない先生でも、教材研究としてリンク先の情報を事前に読んでおくことで、スムーズに探究の授業に取り組める点がありがたいという。特に新任の先生方には、授業展開案からアクセスできるウェブサイトですら事前に勉強してもらっているとのこと。



もちろん、自分たちで用意したウェブサイトのリンクを貼ったり、Google ドライブ内のファイルを共有したりと、一見アナログに見える授業展開案も、アレンジできる結果、実はデジタルで活用できる点が気に入っていると曾原教諭は語る。

5分	・グループになって産る。(4人1組)。 ・本時の学習活動を把握する。	○一人ひとりの想いを汲み取った目標を設定することの大切さを伝える。	し、時間確保を図る。
展開Ⅰ 15分	＜グループ活動＞ ・ワークシートに自分の理想とするクラス、理想とする自身の姿を書き出す。 ・グループのメンバー全員のワークシートをまとめる。	○理想とする集団の姿・理想とする自分の姿を具体的に書き、その因果関係を詳細に記述させる。	□次の展開に向けデータを一覧にする。
展開Ⅱ 25分	＜グループ活動＞ ・データを収集・分析する。 1.キー概念を導く(4～5つ)。 2.スローガンとなるクラス(チーム)憲章を作成する。 3.具体的なアクションルールを提案する。(キー1つにつき3～4つ)。	○KJ法を用いる。 〈参考:KJ法⇒セブンデックス〉 「KJ法をやってみた」具体例を用いてやり方とコツをわかりやすく紹介。 <a href="https://savindex.com/post/6543/">https://savindex.com/post/6543/</a>	□アクションルールに関して「～しない」という禁止事項ではなく、理念を実現する「～する」という文法になるよう指導する。

〈授業展開案に貼られているリンク〉

## 手軽にアレンジできる

こうして“アクチュアル”の利点と同校での活用について紹介してきた曾原教諭は最後に、「コース・教員に関わらず、手軽にアレンジできる」ところが一番いい点だと述べて、話を締めくくった。

【アクチュアルの利点 まとめ】

- 資料が豊富で、すべてDLが可能
- 時数に合わせて課題を選択できる
- ファイル形式はWord、Excel、PDF

コース・教員に関わらず、手軽にアレンジできる

〈“アクチュアル”の利点〉